

編集後記

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われながらも、お彼岸を過ぎ、10月に入った現在もかなりの高温と蒸し暑さを感じます。それに添うかのように、ラグビーワールドカップ2019の熱気がますます増しています。日本ラグビーチームはどこまで行けるのでしょうか。今までラグビーとは無縁であった私も、こんなに面白いスポーツであったのかと、目からウロコの気持ちです。また、選手達もナイスガイが揃っています。マッチョで心優しく、ノーサイドになれば心から相手をたたえ合う姿に感動します。さて、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。寒暖の差による体調管理には十分ご注意ください。インフルエンザ、花粉症もあり、油断はできません。

今月号の特集は、“老視の対策”です。歳をとるのは嫌なものの、とりわけ眼の加齢による不調は気が滅入ることも多いのが、前期高齢者の仲間入りした私の正直なところ。若い先生方には理解しにくい

かもしれませんが、老視を“直してやる”というよりも、“寄り添ってあげる”という優しい気持ちでの対応をよろしくお願いいたします。綜説は、2本です。“バイオーム”という聞きなれない用語の奥に潜む眼科との深い関わりについてわかりやすく解説されています。“網膜パーツ移植”も聞きなれない新しい用語です。網膜を移植することが現実になった現在の医療を実感できます。機器・薬剤紹介は、新しい超広角眼底撮影装置の紹介です。従来製品との比較もしてあり、今後導入を考えている施設の方には装置選びの参考になります。また「臨床報告」が2報、「私の経験」が1報です。さらに本号では、第125回京都眼科学会の「学会抄録」が掲載されています。発表内容がとても立派で、ポスター発表が主体で口演でのプレゼンが少なくなった若い世代の先生方が腕を磨く場としても貴重な会と思いました。

(富田剛司・記)

編集：富田剛司・坪田一男・後藤 浩・飯田知弘・雑賀司珠也・門之園一明・石川 均
編集顧問：所 敬・小口芳久・臼井正彦・澤 充・谷原秀信・岸 章治・三村 治・飯島裕幸

「眼 科」 第61巻 第11号 10月号

2019年10月5日発行（毎月1回5日発行）
定価（本体2,800円＋税）

年間講読料金 定価（本体42,100円＋税）
〔年間13冊（臨時増刊号を含む）の誌代〕
〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14

Tel 03 (3811) 7165〔編集室直通〕

Tel 03 (3811) 7184〔営業部直通〕

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 横山印刷株式会社 Tel 03 (3622) 6161

広告申込先 福田商店 Tel 06 (6941) 5600

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、e-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。